



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成26年度

福島県奨学資金《震災特例採用》

推薦事務の手引き

この手引きは、高等学校及び専修学校（高等課程）に在学している者の福島県奨学資金『平成26年度震災特例採用』申込にかかる学校における事務処理方法及び注意事項についてまとめたものです。

福島県教育委員会

平成26年4月

目 次

1	募集について	1
I	対象となる者	1
II	貸与を受ける者の資格	1
III	奨学資金の月額	2
IV	推薦基準	2
V	貸与の始期及び期間	2
VI	申請書類の提出	2
VII	選考及び奨学生の決定	4
VIII	奨学資金の振込	4
参考	奨学資金の返還免除	4
2	推薦について	5
I	推薦基準	5
3	願書・推薦調書の作成について	6
I	奨学生願書	6
II	推薦調書	6
4	返還免除までの手続き	7
I	返還免除までの手続き	7
II	奨学資金の返還猶予	7
III	奨学資金の返還免除	7
〔様式・記入例〕		
○	福島県奨学生願書	8
○	福島県奨学生推薦調書	12
○	震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書	14
○	口座振替による支払申出書	16
○	誓約書	18
○	居住証明書（参考様式）	19

1 募集について

I 対象となる者

保護者が福島県内に住所を有し、東日本大震災（平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害をいう。以下同じ。）により被災し、下記のいずれかの事由により修学が困難となった高校生又は専修学校（高等課程）生

- (1) 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- (2) 警戒区域又は計画的避難区域内に居住して避難した場合
- (3) 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住して市町村の判断により避難した場合
- (4) 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- (5) 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合
（「著しく」：50%程度以上の減少。一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）
- (6) その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合
（一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）

II 貸与を受ける者の資格

奨学資金は、次に掲げる要件を具備している者に対して、申請に基づき貸与する。

- 一 品行が正しく、かつ、学術に優れていること。
- 二 次のアからウまでに掲げる者の区分に応じ、当該アからウまでに定める要件を具備していること。
 - ア 県内に所在する高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）若しくは専修学校の高等課程（機械又は装置の修理、保守又は操作、製造、加工、建設、医療、栄養の指導、保育、経理その他これらに類する職業に必要な教授を目的とする修業年限二年以上の専修学校の高等課程で教育委員会で定めるものに限る。以下同じ。）に在学する者（略）その者が県内に引き続き六月以上住所を有していること。
 - イ 県外に所在する高等学校若しくは専修学校の高等課程に在学する者（略）その者が当該県外に所在する高等学校、専修学校の高等課程（略）に入学し、又は転学するまで県内に引き続き六月以上住所を有しており、かつ、その者の生計を主として維持する者又はこれに準ずると認められる者が県内に引き続き六月以上住所を有していること。
 - ウからエ（省略）
- 三 経済的理由により修学が困難であると認められること。
- 四 同種類の修学のための資金を他から受けていないこと。

福島県奨学資金貸与条例（抜粋）

- 1 申し込みできる者は、高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）又は専修学校の高等課程（福島県教育委員会で定める専修学校に限る。）の生徒に限ります。

- ※ 以下の者は原則として申し込みできませんので、注意願います。
- ・入学（又は転学）するまで県内に6ヶ月以上住所を有していなかった者
 - ・主たる生計支持者（保護者）が県内に住所を有していない者
 - ・推薦基準外の者（→IV 推薦基準）
 - ・他の貸与型奨学金を受けている者

- ※ 現在、福島県奨学資金を貸与されている者について

申し込みできますが、採用決定された場合、震災特例奨学資金の貸与を受ける期間は、先に貸与決定されている県奨学資金は休止となり、併せて貸与を受けることはできませんのでご注意ください。

2 専修学校の高等課程で県教育委員会で定めるものとは、次の条件をすべて満たす高等課程の学科のことです。

- (1) 職業に必要な技術の教授を目的とする学科（工業、農業、医療、衛生、教育、社会福祉若しくは商業実務の分野に属する全学科又は服飾、家政、文化、教養の分野のうち、デザイン、写真、外国語、音楽若しくは美術に関する学科であること。）
- (2) 修業年限が2年以上の学科
- (3) 授業が年2回を超えない一定の時期に開始され、かつ、その終期が明確に定められている学科

Ⅲ 奨学資金の月額

区 分	国・公立	私 立
自宅通学のとき	18,000円	30,000円
自宅外通学のとき	23,000円	35,000円

※ 保護者と同居の場合は自宅通学として扱います。

Ⅳ 推薦基準

1 学力について

高等学校又は専修学校の高等課程に在学している者で勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると当該学校長が認める者。

2 家計について

東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する事由で家計が急変したことにより修学が困難であり、緊急に奨学金の貸与が必要であると当該学校長が認める者。

- (1) 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合
- (2) 警戒区域又は計画的避難区域内に居住していて避難した場合
- (3) 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて市町村の判断により避難した場合
- (4) 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合
- (5) 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合（「著しく」：50%程度以上の減少。一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）
- (6) その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合で、学校長が特に必要と判断し県教育委員会が認める場合（一時的ではなく、申請時点で状況が継続している場合。）

Ⅴ 貸与の始期及び期間

- 1 貸与の始期は、家計急変の事由が生じた月以降で申込者が希望する月とします。
※ 申込者が希望する月は、申請年度の範囲内（平成26年4月以降）とします。
- 2 貸与の期間は、上記貸与開始期から採用年度末（平成27年3月）までとします。
※ 平成27年度以降の本奨学金の実施については、未定となっております。

Ⅵ 申請書類の提出

推薦に際しては、申請者から次に掲げる書類を提出させ、学校側で作成する「福島県奨学生推薦調書（第2号様式）」を添付のうえ、県教育委員会に平成26年7月31日（木）【必着】までに提出してください。

なお、提出にあたっては、記入例や注意事項等をよく読んだ上で、所要事項を正確に記入させるとともに、記入事項、押印（本人・連帯保証人がそれぞれ異なる印を押すこと）の有無を確かめてください。

[申請者が提出する書類]

(1) 福島県奨学生願書 (第1号様式)

- ア 記載にあたっては「記載例」及び願書裏面の「記載上の注意」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- イ 本籍及び現住所は住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。
- ウ 申請者及び連帯保証人について、現在居住している住所が住民票上の住所と異なる場合は、願書の下余白に、現在居住している住所を記入してください。

例) 申請者 : ○○市○○町1番地の1 □□高等学校△△寮
 連帯保証人 : ××市××町2番地5 仮設住宅101号

エ 家族の状況欄は、申込時の状態で次のとおり記入してください。

- ① 同居・別居を問わず、生計を一にする家族を記入してください。
- ② 次の場合は、同一の住居に居住していなくても、同一世帯員として記入してください。
 - ・ 主たる家計支持者が出稼ぎ又は勤務地の関係で別居しているとき。
 - ・ 就学又は病気療養等のため一時別居しているとき。
 - ・ 主として扶養している別居の祖父母。
 - ・ その他上記のいずれかと同様の状態にあるとき。
- ③ 別居独立している兄弟姉妹及び生計を一にしない別居の祖父母は記入不要です。
- ④ 震災後、転職等により収入源に変動があった者については、申込時現在の状態で、申込年の収入金額を推算してください(千円未満の端数が生じたときは、切り捨ててください。以下同じ。)失業中の場合は、失業前の職業による収入は算入せず、失業給付金受給中又は受給予定の場合は、受給(見込)額を収入とみなし、所得金額に算入してください。

オ 連帯保証人は、県内に住所を有する親権者等(父、母または未成年後見人)となります。

カ 保証人の欄は記入する必要はありません。

キ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に記入してください(修正ペン、修正テープは使用不可)。

(2) 震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

記載にあたっては「記載例」をよく読み、の欄について、該当項目を○で囲むか、読みやすい字で記入してください。

(3) 被災状況を証する書類(被災状況に応じて、次の書類を添付してください。)

被災状況	必要書類(※いずれも写しで可)
ア 自宅被害(全壊・半壊等) ※一部損壊は対象外	罹災証明書(被災証明書は不可)
イ 警戒区域又は計画的避難区域に居住していて避難した場合	被災証明書又は罹災証明書
ウ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて避難した場合	・被災証明書又は罹災証明書 ・特定避難勧奨地点に指定された地点に居住していて避難した場合は、その旨が確認できる書類
エ 主たる生計支持者の死亡等	・被災証明書又は罹災証明書 ・重篤な障がい・疾病を負った場合 医師の診断書、障害者手帳等、状況が確認できる書類をいずれか一つ(死亡・行方不明の場合は特に不要)
オ 主たる生計支持者の収入の著しい減少(失業又は50%程度以上の収入の減少し、その後も状況が改善していない)	・被災証明書又は罹災証明書 ・平成23年度～平成26年度の所得証明書(4年分) ※平成22年分～平成25年分の所得証明書となります ・失業の場合 解雇通知、雇用保険受給資格者証、雇用保険被保険者離職票等、失業が確認できる書類をいずれか一つ ・収入減の場合 震災前後の給与明細等、収入減が確認できる書類

[平成26年度震災特例採用]

※ 申請者本人が保護者と別居し、かつ、住民票と異なる住所に居住している場合は、必ず「居住証明書」を提出してください。任意様式で構いませんが、無い場合は巻末の様式をコピーし、居住先の管理者から証明を受けてください。

(4) 住民票謄本（本籍が記載されている世帯全員分のもの）

※ 同一生計の方全員分です。別居している方も提出になります。

※ 戸籍謄本は不可です。

(5) 口座振替による支払申出書（ゆうちょ銀行の場合は見開き1ページ目のコピーを必ず添付）

※ 氏名、住所等は、住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。

※ 奨学生本人名義の口座を記入してください

（保護者名義の口座、本人名義でも貯蓄口座は、それぞれ使用不可です。）

※ 金融機関の確認印を忘れずに受けてください。

（金融機関の確認を受けることが出来ない場合は、通帳表紙のコピーを添付してください。）

(6) 誓約書

※ 奨学資金申請者が記入・押印してください。

※ 本籍及び現住所は「1. 福島県奨学生願書」と同様、住民票謄本の記載どおりに、番地まで正確に記入してください。

Ⅶ 選考及び奨学生の決定

1 選考にあたっては、提出された願書及びその他の書類を審査して、採否を決定します。

2 奨学生の決定は、在学する学校を経由し、本人に通知します。

Ⅷ 奨学資金の振込

採用者の奨学資金は、「口座振替による支払申出書」で届けられた本人名義の口座に、前期分（平成26年4月～9月分）を平成26年9月頃に、後期分（平成26年10月～平成27年3月分）を平成27年2月頃に振り込みます。振込日は、採用決定通知時にお知らせします。

参考 奨学資金の返還免除（→P.7）

東日本大震災特例採用により貸与した奨学資金については、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが次の各区分に定める額未満の場合は、願出により返還義務が全額免除されます。

- | | |
|--|---------|
| (1) 高等学校又は専修学校（高等課程）を卒業した場合（(2)、(3)を除く。） | 320万円未満 |
| (2) 短期大学、専門学校又は専修学校（専門課程）に進学し卒業した場合 | 340万円未満 |
| (3) 大学又は大学院に進学し卒業した場合 | 360万円未満 |

2 推薦について

推薦にあたっては、推薦基準の各項目のほか、次の点に注意してください。

○ 本人については、途中で学業を放棄することがないと思われる者であること。

(本県奨学生に採用後に退学した場合、奨学資金は廃止となり、貸与を受けた奨学資金について、返還免除は適用されませんので御注意ください。)

○ 他の貸与型奨学金を受けていないこと。

(本県奨学生に採用後に発覚した場合は、奨学生決定当初に遡及して奨学生を取り消します。)

I 推薦基準

1 学力について

高等学校又は専修学校の高等課程に在学している者で勉学に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると当該学校長が認める者。

2 家計について

東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する事由で家計が急変したことにより修学が困難であり、緊急に奨学金の貸与が必要であると当該学校長が認める者。

① 申込者の居住する家屋が全壊・半壊又はこれに準ずる被災をした場合

② 警戒区域又は計画的避難区域内に居住していて避難した場合

③ 緊急時避難準備区域、屋内退避指示が出た区域等に居住していて市町村の判断により避難した場合

④ 主たる生計支持者が死亡・行方不明又は重篤な障がい・疾病を負った場合

⑤ 主たる生計支持者の勤務先等が被災したことにより失業又は収入が著しく減少した場合

⑥ その他、被災により、申込者の属する世帯の家計の支出が著しく増大又は収入が減少した場合

3 願書・推薦調書の作成について

I 奨学生願書

- 1 願書については、記載例どおり正しく記入されているかどうかを確認してください。
- 2 記入漏れ、判読困難などの不備のある願書は、判定材料を欠くものとして選考から除外されることがあります。
- 3 採用決定後でも、記入内容が故意に事実と相違して記入されていることが判明した場合には、採用を取り消す場合があるので、ありのままを記入するよう指導してください。
- 4 申請者の記入した事項を点検して、その記入事項に誤りがあるときは、申請者に訂正させたい、訂正印を押させてください（修正液、テープは不可）。

II 推薦調書

- 1 推薦調書は、在学する学校側において作成することになるので、誤りや記入漏れのないように正確に記入してください。
- 2 出身学校の成績、在学学校の成績の欄は記入不要です。
- 3 「推薦所見」の欄には、申請者の学力、人物、家庭状況の観点から記入してください。
- 4 「参考事項」の欄には、願書等に表れないことで特記すべき事項があれば、記入してください。

4 返還免除までの手続き

I 返還免除までの手続き

主な手続きは次のとおりです。詳しくは、貸与決定時に「奨学生のしおり」をお渡しします。

【在学中の生徒】

- 1 状況が改善せず、翌年度も貸与継続を希望する場合は、在学する学校を通じて「福島県奨学資金震災特例採用継続願」及び必要書類を県教育委員会に提出（※平成27年度以降の本奨学金の実施については未定のため、改めてお知らせします。）
- 2 継続を希望せず、貸与が終了となった場合は、在学する学校を通じて「借用証書」、「返還明細書」、「返還猶予願」及び在学証明書を県教育委員会に提出

【卒業する生徒】

- 3 卒業前に、在学する学校を通じて「借用証書」及び「返還明細書」を県教育委員会に提出
- 4 上級学校等に進学した場合は、「返還猶予願」及び在学証明書を県教育委員会に提出
- 5 卒業後（上級学校等に進学した場合はその卒業後）に、本人の1年間の収入見込額がわかる書類（例：勤務先の証明を受けた給与等見込証明書）を添えて「返還免除願」を県教育委員会に提出

II 奨学資金の返還猶予

- 1 在学中、奨学資金を必要としなくなったときは奨学資金を辞退することができます。この者が引き続き在学する場合は願出により卒業時まで返還が猶予されます。
- 2 上級学校に進学したときは願出により卒業時まで返還が猶予されます。
- 3 災害、疾病その他正当な事由のために返還が困難になった場合は、願出により返還が猶予されることがあります。

※ いずれの場合も、猶予の申請は納期限を過ぎると受付できませんので、すみやかに申請してください。

III 奨学資金の返還免除

東日本大震災特例採用により貸与した奨学資金については、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込みが次の各区分に定める額未満の場合は、願出により返還義務が全額免除されます。

- | | |
|--|---------|
| (1) 高等学校又は専修学校（高等課程）を卒業した場合（(2)、(3)を除く。） | 320万円未満 |
| (2) 短期大学、専門学校又は専修学校（専門課程）に進学し卒業した場合 | 340万円未満 |
| (3) 大学又は大学院に進学し卒業した場合 | 360万円未満 |

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付号							
		※決定号	高・大 第 号						
		ふりがな			性別				
		氏 名							
		生年月日	年 月 日 (満 歳)						
在 学 学 校	立	本 籍							
	部 制 科 学年	現 住 所	電話番号 ()						
同上の 所在地	電話番号 ()	希 望 事 項	貸与月額 円						
			貸与期間 年 月から 年 月まで						
			大学等入学一時金 円						
家 族 の 状 況	氏 名 <small>(生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)</small>	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 校	疾病の 有 無	収入(税込) 額 千円	所得(税込) 額 千円	※
	1	本人							
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
計 名									
連 帯 保 証 人	ふりがな				保 証 人	ふりがな			
	氏 名					氏 名			
	生年月日	年 月 日 (満 歳)				生年月日	年 月 日 (満 歳)		
	本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円		本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円
	本 籍					本 籍			
	現 住 所	電話番号 ()				現 住 所	電話番号 ()		

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由					
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有	修学のための資金の名称		資金の種類	
					貸与 ・ 給付	
		無			貸与 ・ 給付	
			貸与 ・ 給付			
	本人の履歴	年 月 日	履 歴			
		年 月 日	立 中学校入学			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
年 月 日						
年 月 日						
年 月 日						
1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考	
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円		
	アルバイト等から	円	交 通 費	円		
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円		
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円		
			そ の 他	円		
	計	円	計	円		
<p>以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。</p> <p>上記のとおり保証人と連署して誓約します。</p> <p>年 月 日</p> <p>福島県教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">申請者 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 (自筆) ㊟</p> <p style="text-align: right;">保証人 (自筆) ㊟</p>						

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

「家族」は本人と生計を一緒にする者全員を記入してください。

別居している者(家族の所在地と異なる者)には、番号に×印をつけてください。

「年齢」は申込時現在で記入してください。

「職業」は学生の場合は「〇〇1年(専修学校の場合は〇〇課程1年)など学年まで、無職の場合は「無職」と具体的に記入してください。

「連帯保証人」は原則として福島県内に住所を有する保護者としてください。

「年間収入」は平成26年1月～12月までの収入見込を記入してください。

本籍、現住所は住民票の記載どおり、番地、部屋番号まで正確に記入してください。なお、電話番号は必ず記入してください。

「貸与月額」は各区分に応じ、該当する金額を記入してください。

国公立	私立
自宅	借家
18,000円	30,000円
22,000円	35,000円

貸与期間は平成26年度中の希望する月を記入してください(最長12カ月)。

記入しないでください。

申請者や連帯保証人が現在居住している住所が住民票上の住所と異なる場合は、余白に現在居住している住所を記入してください。

※受付番号		高・大 第 1 号		性別	
※決定番号		ふくしま 太郎		男	
ふりがな		福島太郎		生年月日	
氏名		平成〇年〇月〇日(満16歳)		本籍	
生年月日		(申請者本人の本籍を記載)		現住所	
学校		〇〇県立〇〇高等学校		希望事項	
学部		部〇〇科1学年		貸与月額	
学籍		〇〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇〇		平成26年4月から 平成27年3月まで	
所在地		(高等学校等の所在地を記入)		大学等入学一時金	
氏名		続柄		収入(税込) 金額 千円	
1 福島太郎		本人		所得(税込) 金額 千円	
2 大介		父		疾病の有無	
3 花子		母		勤務先	
4 〇〇		兄		在学先	
5 〇〇		母		職業	
6 〇〇		姉		年齢	
7 〇〇		兄弟姉妹		年齢	
8 〇〇		兄弟姉妹		年齢	
9 〇〇		兄弟姉妹		年齢	
10 〇〇		兄弟姉妹		年齢	
計		5名		年齢	
ふりがな		ふくしま だいすけ		年齢	
氏名		福島 大介		年齢	
生年月日		昭和〇〇年〇月〇日(満45歳)		年齢	
本人との続柄		父		年間収入(税込) 千円	
本籍		〇〇県		3,400	
現住所		〇〇市〇〇区〇〇〇		年間収入(税込) 千円	
連帯保証人		氏名		氏名	
		ふくしま だいすけ		福島 大介	
		生年月日		生年月日	
		昭和〇〇年〇月〇日		昭和〇〇年〇月〇日	
		本人との続柄		本人との続柄	
		父		父	
		年間収入(税込)		年間収入(税込)	
		3,400		3,400	
		千円		千円	
		本籍		本籍	
		〇〇県		〇〇県	
		現住所		現住所	
		〇〇市〇〇区〇〇〇		〇〇市〇〇区〇〇〇	

奨学生願書（裏）の記載例【震災特例】

東日本大震災で被災した状況及び現在の家計の状況を簡潔に記入してください。

現在、福島県奨学資金を貸与されている場合は、決定番号（例：23高第〇号）も併せて記入してください。

中学校入学から現在までの状況を記入してください。

例) 東日本大震災で自宅が全壊したことにより、家計の支出が著しく増大したため。
東日本大震災で自宅及び父の勤務先が原発事故の警戒区域となり、父が失業。現在は〇〇県に家族で避難しているが、家計が苦しいため。

奨学金を 受ける 理由	現在受けている、又はこれから受けようとする奨学金の種類	〇〇市奨学金	修学のための資金の名称	〇〇市立	奨学金の種類	貸与・給付 貸与・給付 貸与・給付
	本人の履歴	年 月 日	履 歴	〇〇中学校入学		
参 考 事 項	1ヵ月当たりの平均学費 (収入=支出)	家庭から	収入	H23年 4月 〇日	〇〇中学校入学	
		アルバイト等から	支 出	H24年 4月 〇日	〇〇中学校転学	
		県奨学資金から	生 活 費	H25年 3月 〇日	〇〇中学校卒業	
		その他のから	交 通 費	H26年 4月 〇日	△△高等学校入学	
		計	学 校 納 付 金	年 月 日		
		そ の 他	支 出	年 月 日		
		計	支 出	年 月 日		
			備 考			

以上の記載事項に相違ありません。
奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金の関係規程の規定を守り、奨学生としての責務をはたすことはもとより、関係規程の規定を守り、奨学生としての責務を履行します。
上記のとおり保証人と連署して誓約し

「収入」=「支出」としてください。

入学金を除いた年間納付額を12月で割った金額

該当がある場合は記入し、奨学金の種類を○で囲んでください。

忘れずに記入してください。

申請者 (自筆) 福島 太郎
連帯保証人 (自筆) 福島 大介
保証人 (自筆) 〇〇

※申請者と連帯保証人の印は異なるものにしてください。
必ず自筆で記入し、鮮明に押印してください。

※受付番号

福島県奨学生推薦調書													
氏名	在学 学校					立				部 制 科 年			
出身（在学） 学校の成績	教科												
	年												
	年												
	教科												成績 平均値
	年												
	年												
推薦所見 〔学力 人物〕 〔家庭状況〕													
参考事項		(在学学校の学業成績の席次 人中 位)											
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

成績の記入は不要です。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

学校名、校長名の記入をお願いします。

職印を忘れずに押印してください。

福島県奨学生推薦調査										
氏名	福島 太郎		学校	福島県立 〇〇〇〇 高等学校				部 制	〇〇科 1年	
出身（在学）学校の成績	教科	英語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	技術家庭	保健体育
	年									
	年									
	年									
	年									
	年									
	年									
	年									
	年									
	年									
成績平均値										
推薦所見	〔学力 人物〕 〔学 家庭状況〕									
参考事項	上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められませんでした。推薦します。 平成26年〇月〇日 福島県立〇〇〇〇高等学校 校長（学長） 〇 〇 〇 〇 福島県教育委員会教育長									
※ 判定	職印									

記載上の注意
 (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
 (2) この調査は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
 (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

平成 年 月 日

福島県教育委員会教育長

申請者氏名 <small style="font-size: 8px;">ふりがな</small>	
--	--

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

学校名・学年	高等学校・年 ※サテライト校に在籍する場合(サテライト)
震災後の転居等	転居・避難あり(から) ※県・市町村名を記入 転居・避難なし その他()
被災状況 (※被災証明書又は罹災証明書を添付)	自宅被害 全壊 半壊 その他() ※ 被害状況が分かる「罹災証明書」を添付してください(写しで可)。
	自宅が警戒区域等に指定され避難 警戒区域 計画的避難区域 緊急時避難準備区域 その他()
	主たる生計支持者の死亡等 死亡 父 母 その他() 行方不明 父 母 その他() 重篤な障がい・疾病 父 母 その他() ※ 重篤な障がい・疾病を負った場合は診断書等を添付してください(写しで可)。
	主たる生計支持者の収入の著しい減少 自営 (業種等) 自営以外 (勤務先等) 失業 (離職年月日) 震災前の年収 (円) 震災後の年収 (円) 減収額 (円) ※ 税等控除前の額を記入してください。 ※ 失業・著しい収入減の場合は、その旨が確認できる書類(写しで可)を添付してください。 ※ 平成23年度～平成26年度の4年間分の所得証明書(原本)を添付してください。(自宅被害や避難等、この項目以外に該当する項目のある方については提出する必要はありません)
	世帯全体の収入の状況 ※ 主たる生計支持者以外の方を含めた状況を記入してください。
学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。

※ の欄について、該当項目を○で囲むか記入してください。

学校長証明	上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日 学校名 学校長 印
-------	--

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書記入例

平成26年 ○月 ○日

福島県教育委員会教育長

ふりがな 申請者氏名	ふくしま たろう 福島 太郎
---------------	-------------------

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

学校名・学年	○○ 県立 ○○ 高等学校・ 1年 ※サテライト校に在籍する場合 (△△ サテライト)
震災後の転居等	<input checked="" type="checkbox"/> 転居・避難あり (○○町 から △△市 へ) ※県・市町村名を記入 <input type="checkbox"/> 転居・避難なし <input type="checkbox"/> その他 (<div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 2回以上の転居等がある場合は その他に記入してください。 </div>
被災状況 (※被災証明書又は罹災証明書を添付)	自宅被害 全壊 半壊 その他 (※ 被害状況が分かる「罹災証明書」を添付してください(写しで可)。
	自宅が警戒区域等に指定され避難 <input checked="" type="checkbox"/> 警戒区域 <input type="checkbox"/> 計画的避難区域 <input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域 <input type="checkbox"/> その他 (
	主たる生計支持者の死亡等 死亡 父母 その他 (行方不明 父母 その他 (重篤な障がい・疾病 父 母 その他 (※ 重篤な障がい・疾病を負った場合は診断書等を添付
	主たる生計支持者の収入の著しい減少 自営 (業種等) <input checked="" type="checkbox"/> 自営以外 (勤務先等 (株) □□ ○○営業所) 失業 (離職年月日)
	震災前の年収 (5,500,000円) 震災後の年収 (2,500,000円) 減収額 (3,000,000円) ※ 税等控除前の額を記入してください。 ※ 失業・著しい収入減の場合は、その旨が確認できる書類(写しで可)を添付してください。 ※ 平成23年度～平成26年度の4年間分の所得証明書(原本)を添付してください。(自宅被害や避難等、この項目以外に該当する項目のある方については提出する必要はありません)
世帯全体の収入の状況 ※ 主たる生計支持者以外の方を含めた状況を記入してください。	
学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。

「自宅被害」から「主たる生計支持者の収入の著しい減少」のうち、該当する欄一つ以上を○で囲み、その状況を記入してください。

※ 被災証明書又は罹災証明書のほか、被災状況に応じて証明書等を添付してください。(詳細は募集案内のとおり。いずれか1項目に該当することが分かれば結構です。)

※ の欄について、該当項目を○で囲むか記入してください。

学校長証明	上記のとおり相違ありません。 平成26年 ○月 ○日 学校名 ○○県立○○高等学校 学校長 ○○ ○○
	<input style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>

口座振替による支払申出書 [債権者登録(変更) 申請書]

福島県財務

区分	処理	債権者コード			
4	0	1			

執行機関名 高等学校

決定番号	学校名

記入上の注意

- 裏面の記載例により太枠の中の該当する項目について記入して下さい。
- 口座名義人は奨学生本人にしてください。
- 必ず金融機関の確認を受けて下さい。

注：個人名又は法人名を記入してください

フリガナ																			
氏名 1																			
フリガナ																			
氏名 2																			

注：法人の場合は、代表者名を記入してください (役職名と氏名の間、氏名の姓と名の間は1文字あけてください)

C#	執行機関	会社区分	住所コード	郵便番号
1				

注：都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目 (県外の場合は区市町村まで) を記入してください。

フリガナ																			
住所	都	道	府	県															
フリガナ																			
番地																			

注：番地を記入してください (県外の場合は大字以下の住所を記入願います)

フリガナ																			
方書																			

注：ビル名、アパート名等を記入してください

支払方法	1	5																	
注：支払方法 (1～5のいずれか1つを記入してください)																			

1. 口座振替

金融機関名	店	舗	名	金融機関コード
預金種別	口座番号		口座名義人 (カナ)	
1. 普通預金				

※ 金融機関へのお願について
 金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ)について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄	
確認日	確認者印
金融機関名	
店舗名	

※ 申請者は、色のついた欄のみ記入してください。
 ※ ゆうちょ銀行の場合、通帳の見開き1ページ目のコピーを必ず添付してください。

福島県知事
 上記のとおり申請します。
 平成 年 月 日
 氏名 印

口座振替による支払申出書 [債権者登録(変更)申請書]
【福島県奨学資金用】

福島県財務

区分	処理	債権者コード
4	0	1

C# 注：個人名又は法人名を記入してください

フリガナ	フリガナ	フリガナ
氏名 1	氏名 2	

注：法人の場合は、代表者名を記入してください(役職名と氏名の間、氏名の姓と名の間は1文字あけてください)

C# 執行機関 会社区分 住所コード 郵便番号

フリガナ	フリガナ	フリガナ	フリガナ
住所	住所	住所	住所
番地	番地	番地	番地
方書	方書	方書	方書

注：郵便番号は市区町村・大字・通称名・町・字・丁目(県外の場合は市区町村まで)を記入してください
注：番地を記入してください(県外の場合は大字以下の住所を記入願います)

C# 支払方法 (1~5のいずれか1つを記入してください)

1	口座振替
---	------

金融機関名 店

東邦銀行	県庁
------	----

預金種別

1	普通預金
---	------

口座番号 (例) 記号18280 番号99991

記号	番号
99999999	99999999

備考

フリガナ	フリガナ
------	------

注：使用できる口座は「普通預金」口座もしくは「総合」口座のみです。「貯蓄」口座はご利用できません。

<記載例>

執行機関名 高校教育課

決定番号	学校名
	〇〇〇〇高等学校

記入上の注意

- 裏面の記載例により太枠の中の該当する項目について記入して下さい。
- 口座名義人は奨学生本人にしてください。
- 必ず金融機関の確認を受けて下さい。

携帯でも固定電話でも結構です。連絡可能な番号を記入してください。

市外局番から記入してください。

電話番号	0245217775
------	------------

住民票通りに正確に記入してください。

「〇〇番地〇」ですか?
「〇番〇号」ですか?

アパート名も忘れずに記入してください。

金融機関で確認印をもらってください。

右詰めとする。
※ ゆうちょ銀行の通帳で、口座番号の記載が無い場合は、余白に「記号」「番号」を記入してください。

金融機関へのお問い合わせ
※ 金融機関は、左記の金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ)について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

確認印	金融機関確認欄
	確認者印
	金融機関名
	店舗名

※ 申請者は、ゆうちょ銀行
※ 申請者本人名を忘れずに！
必ず添付してください

申請者本人の署名・捺印と日付の記入を忘れずに！

福島県知事 福島 太郎 印
上記のとおり申請します。平成26年〇月〇日

第3号様式

誓 約 書

年 月 日

福島県教育委員会教育長 様

私は、福島県奨学生として、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規定に従い、奨学生としての本分をつくすことを誓約します。

年 月 日

本籍地

本人 現住所

氏 名



福島県教育委員会教育長

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主）

住所

氏名

印

福島県教育庁高校教育課

〒960-8688

福島県福島市杉妻町 2 番 16 号

電話番号 024(521)7775

FAX 024(521)7973

URL <http://www.koukou.fks.ed.jp/>